

耳のおくすり(点耳薬)の 上手な使いかた

監修 ● 千葉ろうさい病院 病院長 岡本 美孝 先生

※手をよく洗った後に、おくすりを取り扱うようにして下さい。

1 おくすりを耳にさす(点耳) までの準備

ポイント 1 おくすりが冷たい場合

おくすりを冷蔵庫などで保管していて、冷たいまま使用すると、めまいを起こすことがあるといわれています。おくすりが冷たい場合には、使用前に手のひらで容器を2～3分間握って温めるか、体温程度になるまで待つてからして下さい。

2 おくすりのさしかた



横向きに寝かせる

おくすりをさす耳を上にして、耳の入り口が水平になるようにして下さい。



おくすりをさす

容器の先が耳に触れないようにして、おくすりをさして下さい(①)。さす量は医師の指導に従って下さい。

ポイント 2 中耳炎の場合 おくすりをさすポイント

中耳炎では、おくすりをさした後に耳を後上方へ引っ張りながらゆするようにすると、中までおくすりが行きわたりやすくなります。また、鼓膜に穴があいている(穿孔)場合には、つばを飲み込むようにすると、おくすりが耳の中に行きわたりやすくなります。



③ おくすりをさした後

そのままの状態を保つ

通常は2～3分間、耳浴を行う場合は約10分間、そのままの状態でおくすりに接触させて下さい(②)。



ポイント ③ 耳浴とは？

通常のおくすりをさす方法よりも長く接触させるため、治療効果が高まります。ただし、おくすりの種類によっては、副作用などが現れることもありますので、医師の指導に従って下さい。

④ おわりに

余分なおくすりのふき取り

清潔なガーゼやティッシュペーパーなどを耳にあてて起き上がり、耳の外へ流れ出たおくすりをふき取って下さい(③)。



MEMO

施設名



塩野義製薬株式会社

RDE-C-0001 (V04) 審195425
2024年5月作成